

遊びながら鬼を身近に感じる こどもの日わくわくイベント

こどもの日わくわくイベントは5日、鬼の館で開かれました。親子で鬼に親しんでもらおうと、毎年開催されている同イベント。今年は北上翔南高校JRC部の生徒がボランティアとして参加し、受け付けなどを手伝えました。来場した子どもたちは、風船に絵を描いたり、お面に色を塗ったり、鬼剣舞の装束を身に付けたりと多彩な催しを楽しんでいました。ボランティアで参加した和田誠也さん(北上翔南高校1年)は「大変だけどやりがいがある」と話していました。

たくさん
の親子で
楽しんで
いました
会場
さま



お土産詰め合わせセットを手にする高橋さん(右)と岡田さん(左)

ちよつとずつの詰め合わせ 「協力隊印 いわて盛り」発売

北上市地域おこし協力隊の高橋裕子さんと花巻市地域おこし協力隊の岡田芳美さんは、岩手のお土産詰め合わせセット「協力隊印 いわて盛り」を発売しました。

県南地域の地域おこし協力隊が行う交流会のワークショップで生まれた企画で、地元で愛され続けているお菓子4種を少しずつ詰め合わせたもの。30日までマルカンビル1階などで、北上セットと花巻セットを販売しています。今後、種類を増やしながら、イベントなどで出品していく予定です。

たくさんの観光客が桜を満喫 北上展勝地さくらまつり

北上展勝地さくらまつりは4月10日から5月7日まで行われました。北上川の上空を泳ぐこいのぼりがまつりに彩りを添えたほか、民俗芸能公演、観光馬車や遊覧船の運航、夜は桜並木のライトアップを実施。3日には、北上鬼剣舞連合会による東日本大震災犠牲者への供養式と復興祈願の舞が行われました。

今年の開花宣言は4月17日と昨年より遅かったものの、4月後半に見ごろを迎え、昨年より6万1,000人多い約47万7,000人の観光客が訪れました。

桜並木の下で復興祈願の舞を披露する鬼剣舞団体5団体



テープカットで出荷を祝う関係者の皆さん

旬の味を市内外へ発信！ アスパラガス出発式

29年産JAいわて花巻アスパラガス出発式は1日、アスパラガス選果場(和賀町煤孫)で行われました。

式には生産者など約80人が出席。いわさき認定こども園の園児による元気なダンスが披露された後、アスパラガスをトラックへ積み込みテープカットで出荷を祝いました。式典終了後は、北上地域アスパラガス専門部が調理した「しらゆりポークまき」などの試食が行われ、参加者は旬の味を楽しんでいました。今後、9月末まで県内や関東へ出荷されます。

新しい施設で快適な放課後を 北上学童保育所つくしクラブ開所式

北上学童保育所つくしクラブの開所式は6日、同所で行われました。同学童保育所は、木造平屋建てで保育室4室のほか、多目的ホールや体調の悪い児童が休むことができる静養室などが整備されています。

式では、テープカットが行われた後、開所までの経過を報告。卒所者のメッセージや児童によるけん玉ダンスで開所を祝いました。黒沢尻北小5年の高橋優君と笠井藍さんは「皆さんへの感謝の気持ちを忘れず大切に使います」と児童代表のあいさつをしました。

けん玉を使ったダンスを披露する児童たち



神事を行い、今シーズンの安全と来客を祈る関係者

新緑と桜に囲まれ温泉開き 夏油温泉開き

夏油温泉開きは12日、夏油温泉園地で行われました。晴天の空の下、新緑と桜に囲まれながら神事がとり行われ、岩崎鬼剣舞が「一人加護」を奉納。関係者は今シーズンの安全と多くの来客を祈りました。

神事終了後は元湯夏油大広間で、講演会「温泉に期待すること～現代人の生き方、命を考える～」が開催されました。来場者は、温泉を楽しむとともに、読売新聞東京本社医療ネットワーク事務局次長の本田麻由美氏の講話に耳を傾けていました。

たくさんのイベントを楽しむ 第3回えづりこすず桜まつり

第3回えづりこすず桜まつりは4月23日、広表橋東側の和賀川グリーンパーク駐車場で行われました。

3回目となる同まつりでは、黒沢尻歌舞伎保存会による「さくら道中」も開催。艶やかな着物に身を包んだおいらんが会場を練り歩きました。ステージイベントでは、江釣子中学校吹奏楽部による演奏や江釣子保育園の園児によるお遊戯、歌謡ショーが行われたほか御免町鬼剣舞が舞を披露。訪れた観客は、遊歩道を彩る桜とともにまつりを楽しんでいました。

たくさんのお客の前を練り歩く、黒沢尻歌舞伎保存会による「さくら道中」



リハーサル後に児童たちの質問に答える佐渡氏(左)とピアノリストの反田恭平氏(右)

プロの音楽を間近で感じる 「佐渡裕指揮 特別演奏会」公開リハーサル

「佐渡裕指揮東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会2017」公開リハーサルは4月29日、午後の公演に先立ちさくらホールで行われました。同日リハーサルは、佐渡氏の指導の様子やプロのオーケストラの音楽づくりを間近で体感してもらうことが目的。市内の吹奏楽連盟に加入している小・中学校、高校の児童生徒約200人が参加しました。鈴木智大さん(黒沢尻北高校3年)は「きれいな音でグッとくるサウンド。見習いたい」とプロの音楽に耳を傾けていました。